

責任投資レポート2024 ダイジェスト版

<フルレポート版はこちら:<https://www.daido-life.co.jp/sustainability/pdf/ri-report2024.pdf>>

- 社会性・公共性の高い生命保険会社の資産運用にとって、投融資活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献することは、基本的責務のひとつです。
- 当社は、ESG投融資活動とスチュワードシップ活動を合わせた「責任投資」に積極的に取り組むことにより、「持続可能な社会の実現への貢献と長期安定的な収益の確保の両立」を目指しています。

持続可能な社会の実現への貢献と長期安定的な収益の確保の両立

責任投資の取組み

社会課題の中で重要性が高い領域を中心に**3つの注力分野**を設定し、重点的に取り組んでいます。

脱炭素社会への 貢献

CO2排出量が多い投融資先との改善を促すための対話や、脱炭素に資する資金供給 等

生物多様性への 対応・保全

海洋環境を守る事業への資金供給（ブルーボンド）や、投融資先の自然資本に関するリスクの分析 等

人的資本・ ダイバーシティ への取組み

人権・ダイバーシティに関する資金供給・投融資先との対話や、投融資先への健康経営の促進 等

（主な具体例・取組み成果は次ページをご覧ください）

具体的な取組み事例

- 投資先企業と、注力分野をはじめとした**ESG課題等をテーマとする対話**を行っています（過去1年間で**129件**実施）。

環境をテーマとした投資先との対話事例

投資先企業の課題	対話概要	投資先の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量が国内企業において上位 ・排出量削減の対応が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を共有し、2050年の排出量ネットゼロ目標に向けて議論 	<ul style="list-style-type: none"> ・排出量削減に向けた取組みを強化

- 環境・社会課題の解決を進める企業・プロジェクトに対する資金供給を目的とする**ESGテーマ型投融資**にも取り組んでいます。
- 2023年度は約**1,000億円**実行し、23年度末までの累計投融資額は約**6,000億円**となりました。*不動産投資を除く金額

取組み成果

① 投融資先のCO2排出量削減への貢献

- 投資先企業への働きかけ（対話等）により、当社の投資先企業のCO2排出量は2020年度と比較して**▲45.5%減少**しました。最終目標である**ネットゼロ**に向け、今後も積極的に企業への働きかけを行います。



② 社会的インパクトの創出

- ESGテーマ型投融資等を通じて、**環境・社会面に与えるインパクトの創出**に取り組んでいます。



▶ 医療・介護施設への資金供給を通じて、医療・介護サービスを楽しむようになった人および施設の数



▶ 資金供給を通じて企業が事業で削減したCO2排出削減量

当社不動産を活用した
介護付有料老人ホーム



小型EV開発企業への
投資



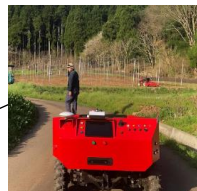
※株式会社環境
エネルギー投資

再生可能エネルギー
発電事業向け融資



※株式会社ユーラスエナジー
ホールディングス

農業用AIロボット
開発企業への投資



※株式会社環境エネルギー投資

高い環境性能を誇る
大同生命横浜ビルの竣工



※写真提供元